

- (1) 研究名: 血流変更ステント留置前後の血管信号抑制パルス併用造影MRIについての研究。
- (2) 研究の目的: 本研究では、血流変更ステントの留置前後のMRI検査において、血管信号抑制パルス併用造影MRIと従来の造影MRI画像(血管信号抑制パルス非使用)の画質の違いについて、血管造影画像を参照しながら検討します。
- (3) 研究実施期間: 2018年3月27日から2028年3月26日
- (4) 研究の方法: 2016年8月1日から2025年7月31日までに当施設でMR検査を受けた患者さんの画像および患者さんの診療内容の情報を抽出・匿名化(患者さんの個人情報情報を消去する処理)して画像処理を行い、過去にさかのぼって研究します。
- (5) 了解していただきたい事項: 画像(MRI検査画像、参考画像として診療録に保管されている画像)、および患者さんの診療内容の情報(血流変更ステントの留置術前後の状況)を抽出すること、および匿名化(患者さんの個人情報情報を消去する処理)後の画像データに対して画像処理を行うこと。
- (6) 研究拒否: 研究対象とならないことを希望する際には当科に連絡をすれば、解析前であれば、情報の削除が可能です。解析後に関しても、検査実施日より1年以内であれば、解析対象から除外します。
- (7) 個人情報保護: 研究に関わる関係者は、個人情報の保護について、適用される法令、条例等を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。症例登録票および症例報告書等を作成する際には、研究対象者の個人情報(氏名・住所・電話番号など)を記載せず、研究対象者識別コードまたは登録番号を用いて、当該実施医療機関外の者が研究対象者を特定できないようにします。研究対象者を識別するための、個人情報と研究対象者識別コードとの対応表は研究責任者が保管します。研究責任者等が研究で得られた情報を公表する際には、研究対象者が特定できないよう十分配慮します。
- (8) 研究資金・利益相反: この研究は、運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査・管理しています。
- (9) 研究機関の名称: 京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座(画像診断学・核医学)
- (10) 研究責任者の氏名: 伏見育崇
- (11) 研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧について: 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧が可能です。(10)の窓口

にお問い合わせください。

(12) 研究対象者からの相談への対応・窓口：〒606-8507 京都市左京区聖護院
川原町54 放射線診断科窓口(担当:伏見育崇)

電話：075-751-3760、diag_rad@kuhp.kyoto-u.ac.jp

京都大学医学部附属病院窓口 相談支援センター

電話: 075-751-4748 ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

改定日2020年3月28日 バージョン2